

ウズベク語における欠如を表す *-siz*<sup>1</sup>日高 晋介<sup>2</sup>**An examination of the suffix *-siz* in derived privative adjectives in Uzbek**

Shinsuke HIDAKA

**Abstract**

In Uzbek, *-siz* is an adjective-forming suffix. According to previous works (Кононов 1960: 147, Bodrogligeti 2003: 372, Берматов ва бош. 2008: 583), an adjective derived with this suffix expresses a lack of the entities denoted by the base noun stem. Ebata (2012a) indicated that the languages of North-Eastern Eurasia have such a suffix, and that while its meaning is contrastive to the proprietive suffix (possession vs. lack), its morpho-syntactic behavior is not.

From Ebata's indication, therefore, I expect that the morpho-syntactic behavior of the suffix *-siz* will not be contrastive to the proprietive suffix *-li*. However, previous works have indicated only symmetry of the suffix *-li* (Bodrogligeti 2003: 375) or, at least, not indicated asymmetry of the morpho-syntactic behavior between *-siz* and *-li* (Кононов 1960: 149, Берматов ва бош. 2008: 588).

Thus in this paper, I describe the morpho-syntactic behavior of the privative suffix *-siz*, comparing it with the proprietive suffix *-li*. The results show that nouns, including the possessive and plural suffix, personal pronoun, demonstrative, personal name, cannot precede the proprietive suffix *-li* but can precede the privative suffix *-siz*. However, unlike the suffix *-li*, these elements can precede the postposition *bilan* 'with'

In conclusion, both suffixes lose the property of original derivative suffix; however, the suffix *-siz* loses this property more than the suffix *-li* because various elements can precede this suffix.

- 0. はじめに
- 1. 先行研究
  - 1.1. *-li* について
    - 1.1.1. 機能
    - 1.1.2. *-li* が付加される要素
      - 1.1.2.1. *-li* が付加される語
      - 1.1.2.2. *-li* が付加される二語以上の単位
    - 1.1.3. 派生語の統語法
  - 1.2. *-siz* について
  - 1.3. *bilan* について
  - 1.4. 問題提起
- 2. 調査・考察

- 2.1. 付加される語
  - 2.1.1. 名詞
  - 2.1.2. 人称代名詞
  - 2.1.3. 指示詞
  - 2.1.4. 人名
  - 2.1.5. 形動詞
  - 2.1.6. 動名詞
- 2.2. 付加される二語以上の単位
- 3. 結論
- 略号一覧
- 参考文献

## 0. はじめに

*-siz* は、先行研究 (Кононов 1960: 149, Bodrogligeti 2003: 375, Бегматов ва бош. 2008: 588) によれば、形容詞を形成する接辞であり、その形容詞は、名詞語幹で表される事物の欠如・不足を表すとされている。このような欠如を表す接辞は、ユーラシア北東部諸言語<sup>3)</sup>にも存在する。しかし、所有を表す接辞とは意味的に対称的であるが、それらの形態統語的なふるまいは非対称的であることが指摘されている (江畑 2012a: 7-8)。チュルク諸語に属するサハ語でもそのような非対称性<sup>4)</sup>が見られる (江畑 2012b: 81-83)。

これらの記述からウズベク語でも、欠如を表す形式は所有を表す接辞と形態統語的なふるまいが非対称的であることが予想される。しかし、従来の先行研究 (Bodrogligeti 2003: 375) では *-li* との意味的な対称性についてのみ指摘されているか、形態統語的なふるまいの対称性に対しては特に記述がない (Кононов 1960: 149, Бегматов ва бош. 2008: 588)。

そこで、本稿では、欠如を表す *-siz* の形態統語的なふるまいを、所有を表す接辞 *-li* と対照させながら記述する。結論として、両接辞とも一般的な派生接辞らしさが失われているが、*-siz* のほうが派生接辞らしさをより失っていることを述べる。

## 1. 先行研究

以下では、1.1 節で *-li* について、1.2 節で *-siz* について先行研究の記述を整理する。

さらに後置詞 *bilan* [with] についても整理する。*bilan* と *-siz* との共通点については 2 節および 3 節で詳述する。

*bilan* は、*-siz* とは意味的には対照的であるが、統語的なふるまいの点で共通する点があるためである。

### 1.1. *-li* について

本節では、*-li* の機能 (1.1.1)、*-li* が付加される要素 (1.1.2)、派生語の形態統語法 (1.1.3) それぞれについて、先行研究の記述を参照する。

#### 1.1.1. 機能

*-li* は、形容詞を形成する接辞であり、その形容詞は、名詞語幹で表される事物の所有を表す (Кононов 1960: 147, Bodrogligeti 2003: 372, Бегматов ва бош. 2008: 583)。

- (1) *xotin+li* = *xotinli*

wife PROP married  
「妻」 「妻持ちの、結婚した」

Bodrogligeti (2003: 372) では、所有の他、“a being furnished with what is expressed by base word”「基礎語によって表される事物が備え付けられていること」も表す、としている。

さらに Бегматов ва бош. (2008: 583-4) では、名詞語幹で表される事物の、“*ortiqligini bildiruvchi sifat yasaydi*”「優位を示す形容詞を作る」と述べられている。

(2) *meva+li* = *mevali*  
fruit PROP fruitful, fruiting  
「果実」 「実の多い、果実のなる」

### 1.1.2. *-li* が付加される要素

本節では、先行研究の記述に従いながら、*-li* が付加される要素、つまり語・複合語・句について説明する。ここでは語と二語以上からなる単位（複合語・句）に分けて説明する。

#### 1.1.2.1. *-li* が付加される語

上記で見たように、基本的に *-li* は名詞語幹に付くことで形容詞を派生する。しかし、動名詞 ( $V^6$  *-(i)sh*) や形動詞 ( $V$ -*(a)r*) の後に *-li* が付き、形容詞を派生している場合もある (Кононов 1960: 147-8, Bodrogligeti 2003: 373-4, 形動詞に関する記述のみ: Бегматов ва бош. 2008: 584)。ただし、この場合の動名詞・形動詞は項を保持することはできない。項を保持する場合については、1.3 節の (15) を参照されたい。

まず、動名詞から形容詞を派生する場合 ( $V$ -*(i)sh-li*) について説明する。この場合、動詞語幹で表される動作が誰かあるいは何かに適している・ふさわしいということを表す (Кононов 1960: 147, Bodrogligeti 2003: 374)。

(3) *min-ish-li* *ot*  
*ride-VN-PROP* *horse*  
「騎馬用の馬 (lit. 乗るのに適した馬)」  
(Кононов 1960: 147)

次に、形動詞から形容詞を派生する場合 ( $V$ -*(a)r-li*) について述べる。この場合、形動詞語幹によって表される動作がふさわしい・可能であるということを表す (Кононов 1960: 147, Bodrogligeti 2003: 374, Бегматов ва бош. 2008: 584)。

(4) *Bu ayt-ar-li gap*  
*this say-PTCP-PROP speech*  
*emas-ø.*  
COP.NEG-3SG  
「これは話すべき話ではない」  
(Кононов 1960: 148)

ただし、形動詞 *-(a)r* が単独で名詞的に用いられることは、ほほない<sup>7</sup>。そのため、*-(a)r-li* と分析するよりも、*-(a)rli* と分析した方が適当である可能性がある。しかし、2.1.5 節に見られるように *-(a)r-siz* との意味的な対称性が見られるため、本稿では *-(a)r-li* と分析する。

#### 1.1.2.2. *-li* が付加される二語以上の単位

本節では、*-li* が付加される二語以上の単位、つまり複合語、Possessive Compound による複合名詞、連体修飾語句、数詞・固有名詞が含まれる名詞句について、それぞれ説明する。

複合語の構成要素それぞれに *-li* を付加することも、最後の構成要素のみに *-li* を付加することもできる。

(5) a. *bola-li+chaqa-li*  
*child-PROP+child-PROP*

- b. *bola+chaqa-li*  
 child+child-PROP  
 「子供たちのいる」 (Bodrogligeti 2003: 375)

Possessive Compound によって形成された複合名詞 ( $N_1$   $N_2$ -*i/-si*) に *-li* が付くと、主要部名詞につく *-i/-si* [3SG.POSS] が消える (Кононов 1960: 147)。次の例では、*Hamza Hakimzoda nom-i* 「ハムザ・ハキムゾーダという名前」という Possessive Compound による複合名詞が想定される。

- (6) [*Hamza Hakimzoda*  
 NAME

*nom]-li shifoxona*  
 name-PROP hospital  
 「ハムザ・ハキムゾーダという名前の病院」  
 (Bodrogligeti 2003: 375)

以下のように修飾語・数詞を含んだ句の主要部名詞に *-li* が付く。

- (7) [*oq soqol]-li*  
 white beard-PROP  
 「白いひげを持つ」

- (8) [*to'rt oyoq]-li*  
 four leg-PROP  
 「4つの脚を持つ」 (Кононов 1960:148)

### 1.1.3. 派生語の統語法

名詞語幹として、複数接辞・格接辞を取ることができる。以下にウズベク語の名詞形態法を挙げておく。

次の用例は、Halima Xudoyberdiyeva (1947~) による詩の一節である。

- (9) *Baxt-li-lar-dan baxtiyor-roq*  
 fourtime-PL-PROP-ABL lucky-COMP

*yashna-b yur-a-man.*  
 flourish-CVB walk-NPST-1.SG  
 「私は幸運な人たちよりも幸運に栄えている」

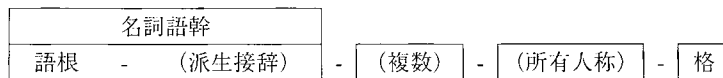


図1：ウズベク語名詞形態法

上記で見てきたように、連体修飾用法((3)~(4)、(6))、名詞用法(9)がある。副詞用法は管見の限りにおいては見つからなかった。

## 1.2. *-siz*について

*-siz* は形容詞を形成する接辞であり、その形容詞は、名詞語幹で表される事物の欠如・不足を表すとされている (Кононов 1960: 149, Bodrogligeti 2003: 375, Берматов ва бош. 2008: 588)。Bodrogligeti (2003: 375) では、*-li* で形成された形容詞とは反意語であるとの指摘がある。

以下では、先行研究における *-siz* の形態統語的特徴について述べる。*-li* と同様に、*-siz* が付加される要素について述べる。派生語の形態統語法についての記述は特にない。

*-siz* に付加する語は、先行研究に挙がっている用例 (Кононов 1960: 149, Bodrogligeti 2003: 375-6, Берматов ва бош. 2008: 588) を参照する限り、単独の名詞に限られている。

- (10) a. *adab-siz*  
 manner-PRIV  
 「無礼な」

b. *barg-siz*

leaf-PRIV

「葉のない」

c. *maza-siz*

taste-PRIV

「まずい」

(Bodrogligeti 2003: 375)

*-siz* が付加される二語以上の要素は、数詞・修飾語を含む句である(Кононов 1960: 149)。Bodrogligeti (2003: 375) では、Possessive Compound 複合名詞句にも付加しようとしている。しかし、Possessive Compound と修飾語を含む句については、特に例が挙げられていない。

(11) *ikki oyoq-siz stol*

two leg-PRIV table

「二つ脚のない机」

(Кононов 1960: 149)

1.3. *bilan*について

1 節で先述したように、*bilan* [with] は、*-siz* とは意味的には対照的である。しかし、統語的ふるまいの点で共通する点があるため、本節で先行研究の記述を参照する。

先行研究 (Bodrogligeti 2003: 266-70, Кононов 1960: 298-301) を参照するに、*bilan* は 6 つの基本的な用法があると考えられる (ただし、Bodrogligeti 2003: 266-70 では「b. 道具格的用法」、Кононов 1960: 298-301 では「c. 等位接続用法」と「e. イディオム」に関しての指摘はない)。*-siz* と意味的に対応するのは「a. 共格的用法」であると考えられる。

## a. 共格的用法

## b. 道具格的用法

## c. 等位接続用法

## d. 時を表す用法

## e. イディオム

## f. 動詞による支配

e. と f. の用法に関しては、*bilan* 自体の性質とは関係ないため、ここでは取り扱わない。これらの用法に関しては、Bodrogligeti (2003: 269-270), Кононов (1960: 301) を参照されたい。

以下で a. から d. についてそれぞれ例を挙げる (下線は筆者による)。

## (12) a. 共格的用法

*Kino-ga o'qituvchi-miz bilan*

film-DAT teacher-1PL.POSS with

*bor-a-miz.*

go-NPST-1PL

「私たちは映画に(私たちの)先生と行く」

(Кононов 1960: 298)

## (13) b. 道具格的用法

*Yo'lchi etig-i bilan u-ning*

traveler boot-3SG.POSS with 3SG-GEN

*bel-i-ga yana bir tep-di-o.*

waist-3SG.POSS-DAT again one kick-PAST-3SG

「旅行者はブーツで彼の腰をもう一度蹴った。」

(Кононов 1960: 299)

## (14) c. 等位接続用法

*Larissa bilan Qochqo'r ikkov-lar-i*

NAME and name both-PL-3SG.POSS

*ikki eshak-da yo'l-da*

two donkey-LOC way-LOC

*chiq-ish-di-o.*

go.OUT-RECP-PAST-3SG

「ラリッサとカチコルは二人とも二頭のロバで出かけた。」(Bodrogligeti 2003: 269)

次の d. の場合、*bilan* の前に動名詞あるいは稀ではあるが形動詞が位置する (Bodrogligeti 2003: 266, Кононов 1960: 299-300)。ただし、この場合は、(3), (4) の場合とは異なり、項を保持していたり ((15) i.)、主語の人称が標示されている ((15) ii.)。そのため、d. は本稿の対象としない。

(15) d. 時を表す用法

i. *U meni ko'r-ish-i bilan*  
3SG 1SG.ACC see-VN-3SG.POSS with

*masxara qil-a boshla-di-ø.*  
ridicule do-CVB start-PAST-3SG  
「彼は私を見て馬鹿にし始めた。」

(Кононов 1960: 300)

ii. *So'ra-gan-im bilan:*  
ask-PTCP.PAST-1SG.POSS with

*"Ishla-sa-ng o'l-a-san=mi?"*  
work-COND-2SG die-NPST-2SG=Q

*deb jekir-a-di-lar.*  
QT yell-NPST-PAST-3PL

「私が尋ねて、彼らは『働くと、君は死ぬのか?』と叫ぶ。」 (Кононов 1960: 300)

## 1.4. 問題提起

1.1 節と 1.2 節で確認した *-li* と *-siz* の機能と形態統語的ふるまいを、表 1 にまとめる。表中の ? は先行研究に全く記述がないことを表し、?? は先行研究で用法の説明があるが、用例が挙げられていないことを示す。

表 1: *-li* と *-siz* の機能と形態統語的ふるまい

		<i>-li</i>	<i>-siz</i>
機能	形容詞派生	+	+
	接辞が付加される語		
接辞が付加される二語以上の要素	名詞	+	+
	動名詞	+	?
	形動詞	+	?
派生語の統語的特徴	Possessive Compound	+	??
	修飾語を含む句	+	数詞: + 他: ??
派生語の統語的特徴	連体修飾	+	?
	名詞	+	?
	副詞	+	?

上記の表のように *-siz* の形態統語的ふるまいは、明らかになっていない点が多い。そこで次節から所有を表す接辞 *-li* と対照させながら記述する。

## 2. 調査・考察

Google 検索と辞書データ検索とエリシテーションを用いて調査を行った。Google 検索を用いて抽出した例文末尾には URL を付した。いずれの例も最終閲覧日は 2014 年 1 月 11 日 (土) である。

本節は *-siz* が付加される語と二語以上の単位 (それぞれ 2.1 と 2.2)) に大きく分かれる。

### 2.1. 付加される語

以下、名詞 (2.1.1)、人称代名詞 (2.1.2)、指示詞 (2.1.3)、人名 (2.1.4)、形動詞 (2.1.5)、動名詞 (2.1.6) の順に検証する。

#### 2.1.1. 名詞

まず複数接辞の後に *-siz* が付く例 (名詞語幹 *-lar-siz*) を検索してみると、次のような例が見られた。

(16) *Ayrim-lar mashina-lar-siz*

some-PL car-PL-PRIV

*hayot-i-ni tasavvur*

life-3SG.POSS-ACC image

*et-a ol-ma-y-di.*

do-CVB take-NEG-NPST-3SG

「ある人は車無しの生活を想像することができない。」

(http://muloqot.uz/blogs/50995/46151/-)

(17) *Paxta bola-lar-siz*

cotton child-PL-PRIV

*ter-il-ma-y-di,*

gather-PASS-NEG-NPST-3SG

「綿が子供無しで集められない、」

(http://www.amerikaovozi.com/content/uzbek-cotton-child-labor/1485859.html?utm\_source=twitterfeed&amp;utm\_medium=twitter)

(16) の *mashina-lar-siz* 「車無しの生活」を「車ありの生活」とするためには *mashina-lar-li* [car-PL-PROP] とすることはできないとインフォーマント<sup>9</sup>から情報を得た。さらに、「車ありの生活」としたい場合は後置詞 *bilan* [with] を用いて次のようにする必要があるとの指摘も得た。

(18) *Ayrim-lar mashina-lar bilan*

some-PL car-PL with

*hayot-i-ni tasavvur et-a*

life-3SG.POSS-ACC image do-CVB

*ol-a-di.*

take-NPST-3SG

「ある人は車ありの生活を想像することができる。」

次に、人称接辞の後に *-siz* が付く例について述べる。その例は Google 検索で見つけることができなかった。そのため、まず *bola-m-siz* [child-1SG.POSS-PRIV] 「私の子供なし (の/で)」という語が許容されるかどうかを尋ねた。それが許容されたため、*bola-m-siz* を使って作例をしていただいた。

(19) *Bola-m-siz hayotim-ni*

child-1SG.POSS-PRIV life-1SG.POSS-ACC

*tasavvur qil-a ol-ma-y-man.*

imagine do-CVB take-NEG-NPST-1SG

「私は自分の子供なしの生活を想像することができない。」

## 2.1.2. 人称代名詞

次に人称代名詞についての例を見る。「人称代名詞 + *-siz*」で検索したところ以下のような例が見つかった。

(20) *Men-siz yasha-y ol-di-ng=mi,*

1SG-PRIV live-CVB take-PAST-2SG=Q

「あなたは私なしで生きられたのか、」

(http://www.odnoklassniki.ru/group/51857201823966/topics?st.gpage=14)

(21) *Siz-siz ham yasha-y ol-a-man...*

2PL-PRIV also live-CVB take-PAST-1SG

「私はあなたなしでも生きられる…」

(http://sheriyat.uz/news/2009-05-28-756)

(22) *Tartibli hayot-im boshlan-di-ø,*

orderly life-1SG.POSS start-PAST-3SG

*lekin u-siz...*

but that-PRIV

「規則正しい生活が始まった、しかし彼女はいない…」<sup>10</sup>

(<http://muloqot.uz/blogs/69020/53232/do-st>)

(23) *Ueyn va Robin kuchli*  
NAME and NAME powerful

*futbolchi-lar, lekin biz ular-siz*  
soccer.player-PL but 1PL 3PL-PRIV

*ham o'yna-gan-miz.*  
also play-PRF-1PL

「ウェイン（・ルーニー）とロビン（・ファンペルシー）は強いサッカー選手だ、しかし我々は彼ら無しでもプレイした。」

(<http://derbi.uz/news/index.php?act=view&id=8760>)

次に、これらの「人称代名詞 + *-siz*」の *-siz* を意味的に対称な *-li* [PROP] 「～持ちの」と置き換えられるかどうかについてインフォーマントに尋ねた。*-li* への置き換えは不可能であると回答を得た。しかし、この場合も前節と同様に、*bilan* [with] との置き換えは可能である。例えば、(20) の場合は次のようになる。

(24) a. \**Men-li yasha-y*  
1SG-PROP live-CVB

*ol-ma-di-ng=mi?*  
take-NEG-PAST-2SG=Q

b. *Men bilan yasha-y*  
1SG with live-CVB

*ol-ma-di-ng=mi?*  
take-NEG-PAST-2SG=Q  
「私と共に生きられないのか?」

### 2.1.3. 指示詞

「指示詞 + *-siz*」の例を検索したところ、次のよう

な例が見られた。

(25) *Shu-siz to'y maraka*<sup>11</sup>  
that-PRIV celebration celebration

*o't-ma-sa-ø, shu-siz*  
pass-NEG-COND-3SG that-PRIV

*tug'-il-gan kun*  
bear-PASS-PTCP.PAST day

*o't-ma-sa-ø, uje spros*  
pass-NEG-COND-3SG already demand

*bo'l-ayap-ti naseleniye-dan.*  
become-PROG-3SG inhabitant-ABL

「それ（＝酒）なしで結婚式を行わないなら、それなしで誕生日を行わないなら、すでに（酒は）需要がある、住民から。」

(<http://www.ozodlik.mobi/a/24493825.html>)

(26) *Men ular-ga shu-siz ham*  
1SG 3PL-DAT that-PRIV also

*ishon-a-man.*

believe-NPST-1SG

「私は彼らをそれなしでも信じる」

(<http://realblancos.uz/uz/news/show/366/90>)

(27) *Hayot-im-ni bu-siz*  
life-1.SG.POSS-ACC this-PRIV

*tasavvur qil-ol-ma-y-man.*

conception do-POT-NEG-NPST-1SG

「私は自分の生活をこれなしで考えられない。」

([http://www.bbc.co.uk/uzbek/lotin/2013/10/131028\\_latin\\_mamadali\\_mahmudov\\_oy\\_nuri\\_part1.shtml](http://www.bbc.co.uk/uzbek/lotin/2013/10/131028_latin_mamadali_mahmudov_oy_nuri_part1.shtml))



これらの場合でも、前節同様、「指示詞 + *-siz*」の *-siz* を意味的に対称な *-li* [PROP] 「～持ちの」と置き換えられるかどうかについてインフォーマントに尋ねた。この場合も前節と同様に、*-li* への置き換えは不可能であり、*bilan* [with] との置き換えは可能であるとの回答を得た。例えば、(25) の場合は次のようになる。

- (28) a. \**Shu-li*    *to'y*            *maraka*  
that-PROP    celebration    celebration

*o't-di-ø.*  
pass-PAST-3SG

- b. *Shu bilan to'y maraka*  
that with celebration celebration

*o't-di-ø.*  
pass-PAST-3SG

「それありで結婚式を行った。」

#### 2.1.4. 人名

「人名 + *-siz*」(ここでは“*Alisher-siz*”)を検索したところ、次のような用例が見られた。

- (29) *Orzu-lar-i-ning ba'zi-lar-i*  
hope-PL-3SG.POSS-GEN    some-PL-3SG.POSS

*endi Alisher-siz amal-ga*  
now    NAME-PRIV    action-DAT

*osh-a-di,*  
exceed-NPST-3SG

「希望のいくつかは今アリシエルなしで実行される」

(<http://www.amerikaovozi.com/content/a-36-2007-11-03-voa1-93346299/796403.html>)

前節同様、*Alisher-siz* は *-li* [PROP] では置き換えできず、*bilan* [with] なら可能であるとの指摘を得た。

#### 2.1.5. 形動詞

まず、辞書データから「形動詞 (動詞語幹 *-(a)r*) + *-li*」という構成を持つ語を検索した。その次に *-li* の部分を *-siz* に替えて検索したところ、次のような用例 ((30)～(34)) が見られた。

*qiziq-ar-li* 「おもしろい、興味深い」 (<*qiziq*-「関心を持つ、夢中になる」)

- (30) *Bu qor be-ma'no va*  
this snow no-meaning and

*qiziq-ar-siz*                    *edi-ø.*  
interest-PTCP.FUT-PRIV    COP.PAST-3SG

*Ha juda juda qiziq-ar-siz-ø.*

ha very very interest-PTCP.FUT-PRIV-3SG

「この雪は意味がない、そしてつまらなかった。はあ、とてもとてもつまらない。」

(<http://muloqot.uz/blogs/51872/15010/qor-kabi-erib-ketgan-qalb-quvonc>)

*tushun-ar-li* 「わかりやすい、理解しやすい」 (<*tushun*-「わかる、理解する」)

- (31) *Tez, tushun-ar-siz gapirish*  
quick understand-PTCP.FUT-PRIV talk

— *fazilat emas-ø.*

worth COP.NEG-3SG

「早くて分かりにくい話は意味がない。」

(<https://twitter.com/muhrim/status/60253923482664960>)

*zerik-ar-li* 「つまらない、あきた、退屈な」

(<*zerik*-「あきる、退屈する」)

(32) *Kun-ingiz omadlik maroqlik va*  
 day-2SG.POSS happiness interest and

*zerik-ar-siz ot-sh<sup>12</sup>-i-ga*  
 bore-PTCP.FUT-PRIV pass-VN-3SG.POSS-DAT

*tilak-dosh-man!!*

wish-AGENT-1SG

「私は、あなた方の日々が幸せでおもしろく、  
 退屈でなく過ぎることを願います！」

(<https://twitter.com/Nilufarposha/>

[status/333824851066355713/photo/1](https://twitter.com/Nilufarposha/status/333824851066355713/photo/1))

*qoniq-ar-li*「満足させる」

(< *qoniq*-「満たされる、満足する」)

(33) *natija qoniq-ar-siz*

result satisfied-PTCP.FUT-PRIV

*bo'l-di-ø!*

become-PAST-3SG

「結果は満足しなかった！」

([https://twitter.com/Ulugmurad/status/](https://twitter.com/Ulugmurad/status/324401480645894144/photo/1)

[324401480645894144/photo/1](https://twitter.com/Ulugmurad/status/324401480645894144/photo/1))

*yet-ar-li*「十分な、いっぱい、満ち足りた」

(< *yet*-「至る、届く、着く、満たす」)

(34) *Holbuki hozir-gi kun-da*

but now-ADJLZ day-LOC

*dunyo-ning turli*

world-GEN different

*nuqta-lar-i-da tahminan*

point-PL-3SG.POSS-LOC about

2.5 million inson

million person

*yet-ar-siz va sifat-siz*  
 reach-PTCP.FUT-PRIV and quality-priv

*suv tufayli...*

water CAUSE

「しかし、今日世界の様々な所で、約 250 万人が、  
 十分でない、質の悪い水のせいで…」

([http://www.trtarabic.com/trtWorld/oz/newsDetail.](http://www.trtarabic.com/trtWorld/oz/newsDetail.aspx?HaberKodu=62bfd57-c8d5-428e-bcd0-cc97ee182d2d)

[aspx?HaberKodu=62bfd57-c8d5-428e-bcd0-cc97ee182d2d](http://www.trtarabic.com/trtWorld/oz/newsDetail.aspx?HaberKodu=62bfd57-c8d5-428e-bcd0-cc97ee182d2d))

ただし、「形動詞（動詞語幹 *-(a)r*）+ *-li*」の用例は、  
 本節で挙げたような動詞語幹に限られており、そもそ  
 も生産性が低いことに注意されたい。

## 2.1.6. 動名詞

前節と同様に、辞書データから「動名詞（動詞語幹  
*-(i)sh*）+ *-li*」という構成を持つ語を検索した。その次  
 に *-li* の部分を *-siz* に替えて検索したところ、次のよ  
 うな用例が見られた。

*bo'l-ish-li*「肯定の」(< *bo'l*-「なる、ある」)

(35) *Bo'l-ish-li va bo'l-ish-siz fe'l-lar*

be-VN-PROP and be-VN-PRIV verb-PL

「肯定と否定の動詞」

(<http://onatili.uz/tag/bolishsiz-fellar/>)

ただし、辞書データから得られた他の用例 (*ko'rin-  
 ish-li*「見た目の良い、魅力的な」< *ko'rin*-「見える」、  
*qara-sh-li*「属する」< *qara*-「見る」、*yey-ish-li*「食べれる、  
 おいしい」< *ye*-「食べる」) は *-siz* の例が見られなかった。

そこで辞書データから得られた上記 3 例と先行研  
 究の用例 (3) (*min-ish-li*「乗るのに適した」) について、  
 インフォーマントに *-siz* と入れ替え可能かどうかを尋  
 ねた。唯一入れ替え可能なのは、*qara-sh-li*「属する」  
 であった。ただし、*-siz* (37b) よりも *emas* で否定する  
 方 (37a) が許容度が高いという指摘を得た。

- (36) *Bu firma men-ga qara-sh-li.*  
 this company 1SG-DAT see-VN-PROP  
 「この会社は私のものである」

- (37) a. *Bu firma men-ga qara-sh-li*  
 this company 1SG-DAT see-VN-PROP  
  
*emas-o.*  
 COP.NEG-3SG

- b. *Bu firma men-ga qara-sh-siz.*  
 this company 1SG-DAT see-VN-PRIV  
 「この会社は私のものでない」

これらの用例も前節の「形動詞（動詞語幹 *-(a)r*）+ *-li*」の用例と同じように、そもそも生産性が低いことに注意されたい。

## 2.2. 付加される二語以上の単位

本節では、複合語と修飾語を含む句に *-siz* が接続できるのかどうかについてエリシテーションを用いて考察する。

まず典型的な複合語について例を挙げる。*-li* (1.1.3.1 節) と同様に、最後の構成要素のみに *-siz* を付加することも、複合語の構成要素それぞれに *-siz* を付加することもできる。

- (38) a. *qo'l+oyoq-siz odam*  
 hand+leg-PRIV person  
  
 b. *qo'l-siz+oyoq-siz odam*  
 hand-PRIV+leg-PRIV person  
 「手足のない人」
- (39) a. *ota+ona-siz bola*  
 father+mother-PRIV child

- b. *ota-siz+ona-siz bola*

- father-PRIV+mother-PRIV child  
 「父母無しの子供」

次に Possessive Compound の場合について考察する。*-li* の場合、主要部名詞につく *-i/ -si* [3SG.POSS] が消える (1.1.3.1 節、(6) を参照されたい)。*-siz* の場合はどうなるであろうか。

まず Possessive Compound 名詞句 (40) の *-i* [3SG.POSS] なしで *-siz* を接続させた作例 (41) をインフォーマントに見せた。

- (40) *Deraza tavaqa-lar-i*  
 window shutter-PL-3SG.POSS  
 「雨戸」
- (41) \**Deraza tavaqa-lar-siz uy*  
 window shutter-PL-PRIV house  
 「雨戸なしの家」

*-i* なしの作例 (41) は許容されず、*-i* が必要であるとの指摘を得た。

- (42) *Deraza tavaqa-lar-i-siz uy*  
 window shutter-PL-3SG.POSS-PRIV house  
 「雨戸なしの家」

インターネットで用例を探すと、(41) と同じような用例が見られる。

- (43) *Zamonaviy qurilish-lar-ni [quril-ish]*  
 modern building-PL-ACC build-VN  
  
*mashina-lar-i]-siz tasavvur*  
 machine-PL-3SG.POSS-PRIV imagine  
  
*qil-ib bo'l-ma-y-di.*  
 do-CVB become-NEG-NPST-3SG  
 「現代の建物を建築機械なしでは想像できない。」

(<http://muloqot.uz/blogs/44852/9095/ko-tarish-krakr>)

も注意されたい。

最後に修飾語を含む句について検証する。この場合も許容される

(44) *katta daryo-siz davlat*  
*big river-PRIV country*  
 「大きい川のない国」

### 3. 結論

以下の表2に2節における考察をまとめた。後置詞 *bilan* の特徴も付す。表中の※は、*bilan* の前に位置する形動詞・動名詞と、*-li* あるいは *-siz* の前に位置するものと比較できないことを表している。なぜならば、*bilan* の場合は、項を保持したり人称接辞が付加される (1.3 節参照) が、*-li* あるいは *-siz* の場合はそのようなことがない (1.1 節と 1.2 節参照) ためである。さらに、*-li* あるいは *-siz* 場合には生産性が低いことに

特に *-siz* が複数接辞や人称接辞の後に接続可能という点、人称代名詞・指示詞・人名にも接続可能であるという点に注目されたい。*-siz* が形容詞派生接辞であるならば、複数接辞や所有人称接辞の後には現れないと考えられる (名詞形態法については図1を参照されたい)。しかし、実際には現れることが可能である。これについては 2.1.1 節の(16)~(19)を参照されたい。さらに、*-siz* が複数接辞や所有人称接辞の後に現れるとすれば、*-siz* は格接辞であるとも考えられる。しかし、*-siz* の直後に格接辞が接続する例があるため、格接辞であるとは考えられない。

(45) *biroq u er-dan uy-siz-ni*  
*but that place-ABL house-PRIV-ACC*  
  
*xayda-b chiqar-ish-gan-ø.*<sup>13</sup>  
*drive-CVB go.out-RECP-PRF-3PL*

表2: *-li*, *-siz*, *bilan* の形態統語的ふるまい

		<i>-li</i>	<i>-siz</i>	<i>bilan</i>	
機能	形容詞派生	+	+	✕	
付加される語 (2.1)	名詞	名詞語根	+	+	+
		複数接辞の後	-	+	+
		人称接辞の後	-	+	+
	人称代名詞	-	+	+	
	指示詞	-	+	+	
	人名	-	+	+	
	形動詞 動名詞	※			
付加される 二語以上の単位 (2.2)	Possessive Compound	<i>-i/-si</i> なし	<i>-i/-si</i> あり	<i>-i/-si</i> あり	
	修飾語を含む句	+	+	+	
派生語の 形態統語的特徴	連体修飾	+	+		
	名詞	+	+		
	副詞	+	+		

「しかし、(彼らは) その場からホームレス (lit. 家が無い人) を追い出した。」

(<http://uzlider.net/yangiliklar/news.php?bestmaster=2013/11/15/maneater/>)

ここで再度、*-siz* を *-li* と比較してみる。*-li* と *-siz* は修飾要素も含めた名詞句に付されている例がある。これが可能であるならば、一般的な派生接辞であるとは考えられない。一般的な派生は「元の語彙素の語類を変える」(Haspelmath and Sims 2010: 87) のものであり、そもそも句については考えられていない。

さらに *-siz* は *-li* よりも Haspelmath and Sims (2010:

87) の言うような本来の派生から逸脱していると考えられる。表 2 を参照すると、屈折接辞にあたる所有人称接辞や複数接辞、さらに人称代名詞、指示詞、人名の後も付すことが可能であることがわかる。*-li* はこのようなことは許さない。ただし、後置詞 *bilan* では可能となる。

したがって、後置詞 *bilan* と意味的に対称である後置詞がないため、その部分を *-siz* がカバーしていると考えられる。そのため、*-li* と *-siz* の非対称性が生まれていると考えられる。

#### 略号一覧

-		接辞境界	NPST	non-past	非過去
=		接語境界	PASS	passive	受動
+		複合語境界	PAST	past	過去
1, 2, 3		1, 2, 3 人称	PL	plural	複数
ABL	ablative	奪格	POSS	possessive	所有
ADJLZ	adjectivalizer	形容詞化	POT	potential	可能
AGENT	agent	動作主	PROG	progressive	進行
COND	conditional	条件	PTCP	participle	形動詞
COMP	comparative	比較級	PRIV	privative	欠如
COP	copula	コピュラ	PROP	propriative	～持ちの
CAUSE	cause	原因	PRF	perfect	完了
CVB	converb	副動詞	Q	question marker	疑問標識
DAT	dative	与格	QT	quotation	引用
GEN	genitive	属格	RECP	reciprocal	相互
LOC	locative	位置格	SG	singular	単数
NAME	proper name	固有名詞	VN	verbal noun	動名詞
NEG	negative	否定			

#### 参考文献

- Бегматов, Э., А. Мадавалиев, Н. Маҳкамов, Т. Мираев, Н.Тўхлиев, Э. Умаров, Д. Хутойберганова, А. Ҳожев. (2008) *Ўзбек тилининг изоҳли луғати : 80000 дан ортиқ сўз ва сўз бирикмаси: 5 жилд*. Тошкент: “Ўзбекистон миллий энциклопедияси” Давлат илмий нашриёти.
- Bodrogligeti, András J. E. (2003) *An academic grammar of Modern Literary Uzbek* München: LINCOM EUROPA.
- Boeschoten, Hendrik (1998) Uzbek. Johanson, Lars and Éva Á. Csató (eds.) *The Turkic languages*. 357-78. London, New York: Routledge.
- 江畑冬生 (2012a) 「ユーラシア北東部諸言語の所有を表す接辞の意味論と構文論: 導入と総括」『北方言語研究』2: 1-10.

- \_\_\_\_\_ (2012b) 「サハ語の所有を表す接尾辞 -LEEx」『北方言語研究』2: 73-90.
- Haspelmath, Martin and Andrea D. Sims (2010) *Understanding morphology*. [2<sup>nd</sup> edition] London: Hodder Education.
- Кононов, А. Н. (1960) *Грамматика современного Узбекского литературного языка*. Москва, Ленинград: Издательство академии наук СССР.
- Schönig, Claus (1999) The internal division of modern Turkic and its historical implications. *Acta orientalia Academiae Scientiarum Hungaricae*. 52 (1): 63-95.

## 註

- 1 本論文は、第148回日本言語学会(2014年6月7日(土)、法政大学)で行われた「ウズベク語における欠如を表す -siz」という発表に基づいている。
- 2 日本学術振興会特別研究員 DC
- 3 江畑(2012a)では、コリマ・ユカギール語(系統不明)、アリュートル語(チュクチ・カムチャッカ語族)、エウエン語(ツングース諸語)、モンゴル語(ハルハ方言、モンゴル諸語)について言及がある。
- 4 サハ語 -LEEx はウズベク語 -li と同起源であると考えられる。しかし、欠如を表す形式であるサハ語 -ta suox とウズベク語 -siz は同起源ではないことに注意されたい。Schönig (1999: 77) は、Northeast Turkic (トウヴァ語、ハカス語、サハ語など) が欠如を表す -sIz を持たないことを示している。
- 5 本稿で考察する -siz 及び -li は語のみならず句にも付きうる(1.1節と1.2節を参照されたい)。その点で一般的な派生接辞とは性質を異にすると考えられる。これについては3節で再度述べる。
- 6 V は動詞語幹を表す。
- 7 形態素分析済みのニュース記事8つと小説4つ(文字数の合計は約49,800字である。いずれもウェブ(Ozodlik radiosi (<http://www.ozodlik.org/>), Ziyo istagan qalblar uchun (<http://www.ziyouz.com/>)) (最終閲覧日2014/05/22)) から -(a)r の用例を抽出したところ、形動詞 -(a)r が単独で名詞として用いられている用例は見当たらなかった。ただし、yet-ar が「十分な」という意味を表す形容詞として単独で用いられている用例が見つかった。
- 8 「O'zbekcha-Yaponcha lug'at ウズベク語—日本語辞書」(<http://ozyalugat.wjg.jp/>)のデータ(12,315見出し収録、光地君夫氏提供)を使用させていただいた。このデータはMS Excellで整理されている。
- 9 男性、1984年生、タシケント出身。
- 10 un-siz のように、nが入った形も見られる。ただし、u-siz とどちらがより多く使われるのかという問題については現時点では不明である。これについては指示詞 (bu 「これ」, shu 「それ」) についても同様である。
- 11 ma'raka のタイプミスであると考えられる。
- 12 o't-ish のタイプミスだと考えられる。
- 13 er は yer、xayda- は hayda- が正しい綴りである。